

槇尾中学校区

今後の教育環境について

平成30年4月 No.4

意見交換会について

平成30年1月から3月にかけて、横山校区、南横山校区、特認の単位で町会、PTAをはじめとした関係団体の関係者に参加頂き、各3回ずつ、9回の意見交換会と「南松尾はつが野学園」の見学会を開催しました。

内容としては、「小中一貫校における教育活動」、「他市の状況」など、地域の方々に浸透していないと思われる内容を中心に情報発信を実施してきました。

その内容は、随時回覧も実施してきましたが、その概要を裏面にまとめました。

今後について

●小中一貫校とするかどうかについては全くの未定です。

教育委員会では、施設一体型小中一貫校は、教育環境として有意義な部分があると考えています。しかしながら、地域の意向も確認しつつ判断するべきものとして、現時点ではその方針は未定です。

●地域全体への説明会(情報発信)の開催も検討中です。

これまで意見交換会で情報発信してきた内容等については、改めて地域の皆さんにお伝えする機会を検討しています。詳細が、決定しましたらお知らせします。

●引き続き、情報発信に努めます。

その他、今後の進め方について方針が決定次第、お知らせしていきます。

意見交換会での情報提供内容及び主な意見等 概要

※以下の表は過去3回実施した中での情報提供内容や主な意見について、まとめたものです。

※跡地利用や教育内容など「小中一貫校」についてのやりとりの内容は、あくまでも「例示」、「イメージ」、「想定」等の「仮」として取扱っております。

	情報提供の内容	○主な意見・質問	※市教委より
第1回	・ 榎尾中学校区各校の基本情報（沿革・就学区域・施設概要など） ・ 児童生徒数のこれまでの推移、今後の見通しについて ・ 国の動向について ・ 小規模校のメリット、デメリットについて ・ 南松尾はつが野学園について	○仮に、施設一体型の小中一貫校を建てる場合、建設場所については、榎尾中学校に限定せず、検討を行うべき。 ○小中一貫校となった場合の、「児童生徒数の見込み」を示して欲しい。 ○南松尾小・中学校の移転統合の経過を教えて欲しい。	※小中一貫校の設置や建設場所等、全くの未定です。
第2回	・ 南松尾小・中学校移転統合の経過 ・ 他市事例（小中一貫校の様子） 能勢町 ささゆり学園 池田市 ほそごう学園 ・ 小中一貫校となった場合の、「児童生徒数の見込み」	○子どもにとっては小中一貫校がいいと思う。ただ、教員間の連携が必要。 ○小中一貫校とせず、今のままでもいいと思う。 ○他校区へ移転統合となるのは心配。 ○スクールバスはどうなるのか？ ○就学前児童の保護者に意見を聞くことが必要。 ○新しい場所での特認制度は、今の特認制度とは違うものになる。	※小中一貫校は、有意義な教育環境のひとつとは考えていますが、今後も情報発信や意見交換を行いながら、方向性の整理に努めます。 ※小中一貫校とする場合には、その建設場所などを確認しながら、スクールバスの導入や路線バスの活用等を検討します。
第3回	・ 学校のあり方について（再編パターン） ・ 期待される教育環境、特色・魅力ある学校づくりの一例 ・ 特認校として、児童・生徒を確保するための特色ある教育の実施イメージ ・ 跡地利用について	○特認ありの小中一貫校が自然な流れと考えるが特認の人数確保が課題。 ○教育内容の魅力・充実がないと特認として通学させようと思わない。 ○地域づくりを含めて考えてほしい。 ○小中一貫校ができるまでの間に特認が減少してはいけない。	※単なる学校建設ではなく、教育委員会と他部局も連携し、地域づくりを意識していきたい。

◎意見交換会の内容は和泉市教育委員会のホームページにも掲載しています。

お問合せ：和泉市教育委員会事務局教育総務室 総務企画担当 岩井・山本 TEL.0725-99-8158
mail: kyouso@city.osaka-izumi.lg.jp